

## データベースの概要

医療用医薬品に対してアレルギーのある患者さんへの投与制限に関するデータベースです。  
 処方薬とのアレルギーチェックを行うことが可能です。

## データベースの特徴

アレルギーを起こす代表的な成分の系統を対象とし、該当する薬品を分類しています。

アレルギーの原因となる成分分類	
ヨウ素系	マクロライド系
非ステロイド系抗炎症薬 (NSAIDs)	リンコマイシン系
ピリン (ピラゾロン) 系	テトラサイクリン系
局所麻酔薬	グリコペプチド系
ペニシリン系	キノロン系
セフェム系	サルファ剤
カルバペネム系	ワクチン・トキソイド
ペネム系	ガドリニウム (Gd) 系造影剤
モノバクタム系	アンジオテンシン変換酵素 (ACE) 阻害薬
アミノグリコシド系	

## データベースの機能

### 医薬品アレルギーと処方薬のチェック

#### 成分分類からのアレルギーチェック

問診などにより得られた医薬品アレルギー情報について、「アレルギーの原因となる成分分類」を予め登録しておくことで、処方薬のアレルギーチェックを行うことが可能です。

#### 例

患者情報として予め「ピリン (ピラゾロン) 系」のアレルギー歴を登録しておく、ピリン (ピラゾロン) 系の成分である「イソプロピルアンチピリン」を含有する薬品『S G 配合顆粒』が処方された場合に、チェックがかかります。

患者さんのアレルギー歴として  
「ピリン (ピラゾロン) 系」を登録



『S G 配合顆粒』の有効成分

**イソプロピルアンチピリン**  
 アセトアミノフェン  
 アリルイソプロピルアセチル尿素  
 無水カフェイン



アレルギー歴がある旨のチェックが可能です。

## ■ 薬品名からのアレルギーチェック

問診などにより得られた医薬品アレルギー情報について、原因となった薬品名を登録しておくことで、「アレルギーの原因となる成分分類」が同じ薬品が処方された場合に、アレルギーチェックを行うことが可能です。

### 例

患者情報として予め『ユナシン錠 375mg』のアレルギー歴を登録しておくこと、同じペニシリン系の成分である「アモキシシリン水和物」を含有する薬品『ボノピオンパック』が処方された場合に、チェックがかけられます。

患者さんのアレルギー歴として  
『ユナシン錠 375mg』を登録  
(ペニシリン系の薬品)

『ボノピオンパック』の有効成分

ボノプラザンフマル酸塩  
**アモキシシリン水和物**  
メトロニダゾール

アレルギー歴がある旨のチェックが可能です。

## ■ 同じ「アレルギーの原因となる成分分類」に属する薬品の検索

アレルギーを起こした薬品名から、同じ「アレルギーの原因となる成分分類」に分類される薬品を検索することが可能です。

### 例

『ペングッド錠 250mg』と同じ「ペニシリン系」に分類される薬品を検索します。

アレルギーを起こした薬品として  
『ペングッド錠 250mg』を登録

「ペニシリン系」のデータ (概略)

成分分類	商品名
ペニシリン系	ユナシン錠 375mg
	サワシリンカプセル 250
	ビクシリンドライシロップ 10%
	ボノサップパック 400 など

### 高品質な医薬品情報データベースで様々な課題を解決

データインデックスの医薬品情報データベースは、薬剤師や専門スタッフによる日々のメンテナンスと独自の情報処理技術を基盤としています。豊富な情報量と高い品質を兼ね備え、医薬品情報によって病気の治療や健康をささえる「情報医療」の推進に貢献します。

詳しくはこちらから → <https://www.data-index.co.jp/>